

会報

しんせき

第 41 号

平成26年12月8日

発行責任者

新潟コミュニティ協議会
会長 瀬戸範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新潟コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL 0250-47-4640

(新潟コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

クリスマスケーキづくりに歓声

うまくできた！
おいしかった！



12月6日



恒例の世代間交流事業「クリスマスクッキング教室」が
新潟小学校家庭科室をお借りして行われました。
食生活改善推進委員さんや秋葉区健康福祉課保健師
さんボランティアさんの指導の下で調理開始。食材がび
つりと並んだ調理用テーブル。58名の大人と子供が
一緒になって包丁を手にしたり味付けをしたりするな
ど、世代間交流にふさわしい場となりました。

今回のメニューは

- ① おにぎら～ず
- ② れんこんつくね
- ③ 大豆ホワイトサラダ
- ④ こぶ茶de野菜スープ
- ⑤ クリスマスケーキ

食材の組み合わせ、調理方法によっておいしさや美しさなどバリエーションが広がることがよく分かりました。

みなさんも子供さんと一緒に工夫しながら料理を楽しんでみませんか。「会話」というメニューがもう一つ加わります。

世代間交流事業
にぎやかに行われる

下新 大閑・新郷屋 自治会

防災訓練実施

10月26日 大閑自治会

では、
土田悦夫自治会長はじめ役員や班長らで防災訓練を実施しました。

【内容】 自治会長による「避難勧告」から

1. 大閑自治会緊急連絡網の実行確認
2. 各種防災器具、備品の確認と操作訓練
防災ラジオ・のぼり旗・搬送リヤカー・ロケットストーブ・懐中電灯・ヘルメット
警棒、消火器・発煙筒・パトロールジャンパーと帽子他

3. 緊急情報キットの配置状況の確認
4. 炊き出し訓練

【課題】 ◆緊急情報キットの配布の趣旨を再度周知する必要性を感じた。

◆今回は初步的なことから始めた。次回に活かしたい ということでした。



11月2日 下新自治会

土田勇一自主防災会長はじめ、吉田正明自治会長のもと「つながりを強くして、災害に強い地域」を目指した防災訓練を実施。



簡易担架づくり、リヤカーによる搬送、消火訓練、心肺蘇生訓練、濃煙体験、ロケットストーブを使った炊き出し訓練など多岐にわたり、しかも中身の濃い訓練となりました。

(参加者は約 60 人)



◆防災は一人より二人、二人より三人…つながりが大切

◆いざという時に支え合い、励まし合える普段からの地域の関係づくりの大切さを確認しました。





11月9日新郷屋自治会では、伊藤一栄自治会長のもとで毎年防災訓練を実施しています。今年は

- ①リヤカー・担架組み立て訓練
- ②集落巡回とけが人、病人等の発見搬送訓練
- ③ロケットストーブを使った炊き出し訓練

などきめ細かな訓練を実施し、それぞれの役割や分担等を確認し合いました。

反省会では、次回につながるいろいろな課題が出されました。

今年は、六郷(6月実施)を含め4自治会が防災訓練を実施し、次に繋がる成果を残されました。

地域主導で万に備え

自然災害により、自生防災組織を立ち上げる地域が増えている。新潟市秋葉区の新潟コムニティ協議会もその一つだ。新潟地域は約600万世帯が暮らす。「コミュニティ構成する八つの居委会は、それぞれ独自の防災対策を立てていたが、2009年に「新潟コムニティ自生防災組織」として共同での防災対策をスタートさせた。緊急

新潟コミュニティ協議会
(新潟市秋葉区)

連絡の作成、自宅会員用など、実際に避難して宿泊所で生活する訓練を定期的に行なう。消防署は定期的に訓練をする連絡所お泊まり会議を開く。防災担当者会議を開くなり体験会をとし6月に行なう。訓練の精神的・精神的に取った。

実効性ある
避難計画を

二ユアルを作成。
避難所となる新聞小学
校の連携、災害時の児童
の安否を下校まで細かに記
した。



宿泊訓練を通じ検証

久守音の久地

難所お泊まり体験で、マニュアルに沿って設営する新聞コミьюニティ協議会の役員(新島市秋葉区、新開小学校)

開小林の新規マニフェスト
セクター支援対策本部を
設置、地域に残っていた高
齢者からは「床に因る」
一ルを教いただけでは、体
調・精神状態が悪化する
懸念がある。一方で、高
齢者には「マニフェス

平成26年10月26日新潟日報掲載記事

昭和39年6月16日に新潟地震が発生して50年。今後もこの日を忘れず、防災に対する備えを一層充実するために新潟市一斉に防災訓練が行われました。すでに「会報37号」等でお知らせしましたが新関コミ協も小学校や地域と連携した訓練を実施しました。

この新潟日報の記事は、今回の新潟市の防災訓練関係のまとめとして新関コミ協の取り組みを紹介されたものです。

11月22日、長野県白馬村を中心にM.G6.5弱の地震が発生家屋が倒壊しました。幸いにも人的被害はけが人程度で済みました。このことについて、防災アドバイザーの山村武彦先生はテレビ番組で、①雪の積もる前だった②真夜中でなかった③普段の防災意識の高さ(共助・助け合い)があつたと指摘され、特に③について、ピラミット型の安否確認体制(災害時住民ささえあいマップ)、横のつながり、一人一人の顔や状況がいつも見える地域であったことを強調されていました。

少しずつ防災資機材揃える



炊き出し班用の エプロンと三角巾



スタッフ用の帽子



炊き出し用炊飯器

これまでの防災訓練から、一層の防災資機材等の備えが必要と考えておりました。

この度秋葉区社会福祉協議会のご協力で、赤い羽根共同募金助成に応募したところこれまでの実績から助成が認められました。急速次のような物品を揃え、訓練やいざという時に活用することにしました。

新関小 学習の成果 着々と

4年生は総合学習の一環として、小口の焼却場、小口観音堂や若宮神社、仁王門などを見学しました。

「仁王門は、あんなに迫力があるので釘が一本使われていないので、びっくりしました。」「観音堂では3年ごとに御開帳が行われることがわかりました。」「百段坂という名前なので数えてみました。」「観音山

から小学校が見えました。」「仁王様は、秋葉区の小口と満日と朝日にあることがわかりました。」「小口は縄文人が住んでいたことに驚きました。」などなど、学習してわかったことなどを寄せてくれました。



10月28日

4年生地域学習



5年生收藏祭 12月5日

稻作体験学習も無事終わり、この度収穫祭が行なわれました。少々お手伝いしたコミ協役員も招待され、学習の成果（クイズや紙しばいなどで表現）を見せていただきました。コシヒカリのおにぎりも格別。最後には、感謝状が授与され参加者は大変恐縮しておりました。



感謝状

みなさま、良いお年をお迎えください。